

◎国際熱核融合実験炉のための工学設計活動における協力に関する欧州原子力共同体、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定の有効期間を延長する改正

(略称) 国際熱核融合実験炉のための工学設計活動協定の有効期間延長改正

平成	十年	六月	十六日	ウィーンで作成
平成	十年	七月	十四日	署名の閣議決定
平成	十年	七月	十四日	署名
平成	十二年	十月	四日	告示(外務省告示第四二二号)
平成	十年	七月	十四日	我が国について効力発生

国際熱核融合実験炉のための工学設計活動における協力に関する欧州原子力共同体、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定の有効期間を延長する改正

欧州原子力共同体、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府（以下「締約者」という。）は、

千九百九十二年七月二十一日に締結された国際熱核融合実験炉（ITER）のための工学設計活動における協力に関する締約者間の協定（以下「協定」という。）及び千九百九十四年三月二十一日に締結された協定の第二議定書を考慮し、

協定の枠内において、達成された進展及び引き続き共同して実施するための取組み方法に関して行われた諸提案に留意しつつ、

協定第一条に従いITERの建設及び運転に関する将来の決定を行うことができるようにするため協定の枠内において引き続き共同して作業することを希望し、

協定第二十二條及び第二十五條(2)に従って行動して、

協定を次のように改正することに合意した。

第二十五條(1)中「六年間」を「九年間」に改める。

この改正は、締約者の署名により効力を生ずる。

千九百九十八年六月十六日にウィーンで、本書四通を作成した。

欧州原子力共同体のために

ラルス・エリック・ルンデイン

日本国政府のために

池田 右二

AMENDMENT EXTENDING THE AGREEMENT
AMONG THE EUROPEAN ATOMIC ENERGY COMMUNITY,
THE GOVERNMENT OF JAPAN,
THE GOVERNMENT OF THE RUSSIAN FEDERATION,
AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA
ON COOPERATION IN THE ENGINEERING DESIGN ACTIVITIES
FOR THE INTERNATIONAL THERMONUCLEAR EXPERIMENTAL REACTOR

The European Atomic Energy Community, the Government of Japan, the Government of the Russian Federation, and the Government of the United States of America ("the Parties"),

HAVING REGARD to the Agreement among the Parties on Cooperation in the Engineering Design Activities for the International Thermonuclear Experimental Reactor (ITER), concluded on 21 July 1992 ("the Agreement"), and the Protocol 2 to the Agreement concluded on 21 March 1994,

NOTING the progress achieved and the proposals made on approaches to continued joint implementation, all within the framework of the Agreement,

DESIRING to continue to work jointly within the framework of the Agreement to enable future decisions on construction and operation of ITER in accordance with Article 1 of the Agreement, and

ACTING in accordance with Articles 22 and 25(2) of the Agreement,

HAVE AGREED to amend the Agreement AS FOLLOWS:

Replace "six years" in Article 25(1) by "nine years".

This Amendment shall enter into force upon signature of the Parties.

Done at Vienna on 16 June, 1998 in quadruplicate.

FOR THE EUROPEAN
ATOMIC ENERGY COMMUNITY:

Lars-Erik Lundin

DATE: 30 June 1998

FOR THE GOVERNMENT
OF JAPAN:

Yuji Ikeda

DATE: 14 July 1998

国際熱核融合実験炉のための工業設計活動協定の有効期間延長改正

ロシア連邦政府のために

オレグ・M・ソコロフ

アメリカ合衆国政府のために

この改正に拘束されることについてのアメリカ合衆国政府の同意は、次の文書への署名により表明された。

国際熱核融合実験炉のための工学設計活動における協力に関する欧州原子力共同体、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定によって設立された活動の枠組みへのアメリカ合衆国の参加の継続に関する同意

アメリカ合衆国政府は、

欧州原子力共同体、日本国政府及びロシア連邦政府が国際熱核融合実験炉のための工学設計活動における協力の継続を希望することを認識し、

進行中の活動を完了し及び核融合科学に係る国際協力に関する新たな協定を交渉することを希望し、

協定によって設立された進行中の活動の枠組みに千九百九十八年七月二十二日から一年間参加を継続することに同意した。

この活動の枠組みへの参加は、予算が利用可能であることを条件とし、装置の建設を約束するものではない。

千九百九十八年九月二十二日にウィーンで作成した。

アメリカ合衆国のために

ビル・リチャードソン

FOR THE GOVERNMENT
OF THE RUSSIAN FEDERATION:

FOR THE GOVERNMENT OF THE
UNITED STATES OF AMERICA:

Oleg M. Sokolov

DATE: 16 June 1998

DATE:

AGREEMENT ON CONTINUED UNITED STATES PARTICIPATION
IN THE PROCESS ESTABLISHED BY THE AGREEMENT
AMONG THE EUROPEAN ATOMIC ENERGY COMMUNITY,
THE GOVERNMENT OF JAPAN,
THE GOVERNMENT OF THE RUSSIAN FEDERATION,
AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA
ON COOPERATION IN THE ENGINEERING DESIGN ACTIVITIES
FOR THE INTERNATIONAL THERMONUCLEAR EXPERIMENTAL REACTOR

The Government of the United States of America,

Recognizing the desire of the European Atomic Energy Community, the Government of Japan and the Government of the Russian Federation to continue cooperation in the engineering design activities for the International Thermonuclear Experimental Reactor,

Desiring to complete ongoing activities and to negotiate a new agreement on international collaboration on fusion science;

Has agreed to continue participation in the ongoing process established by the Agreement for a period of one year from July 22, 1998.

Participation in this process will be subject to the availability of appropriated funds and is not a commitment to construct a device.

Done at Vienna on 22 September, 1998.

Bill Richardson

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA

(参考)

この改正は、平成四年に作成された国際熱核融合実験炉のための工学設計活動における協力に関する欧州原子力共同体、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定（EDA協定）の有効期限を現行の六年間から九年間に改めること等について定めたものである。